

第15回全国専門学校ロボット競技会

2足歩行ロボット競技 質問事項に対する回答、対処案

Q. 1 競技コース表面の材質について、詳しく教えてください。

A. 1 競技要項には、P - タイルとなっておりますが、下記のものに変更いたします。

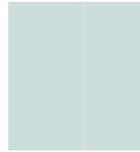
床材

製造会社：アイカ工業株式会社

品名：アイカハイボード

品番：RB 5459

色：スカイグレー



実際の色は実物で確認下さい。
ホームセンターにて入手可能です。

マーキング用カットニングシート

製造会社：株式会社中川ケミカル

品名：カットニングシート

品番：791 ブラック&711 ホワイト

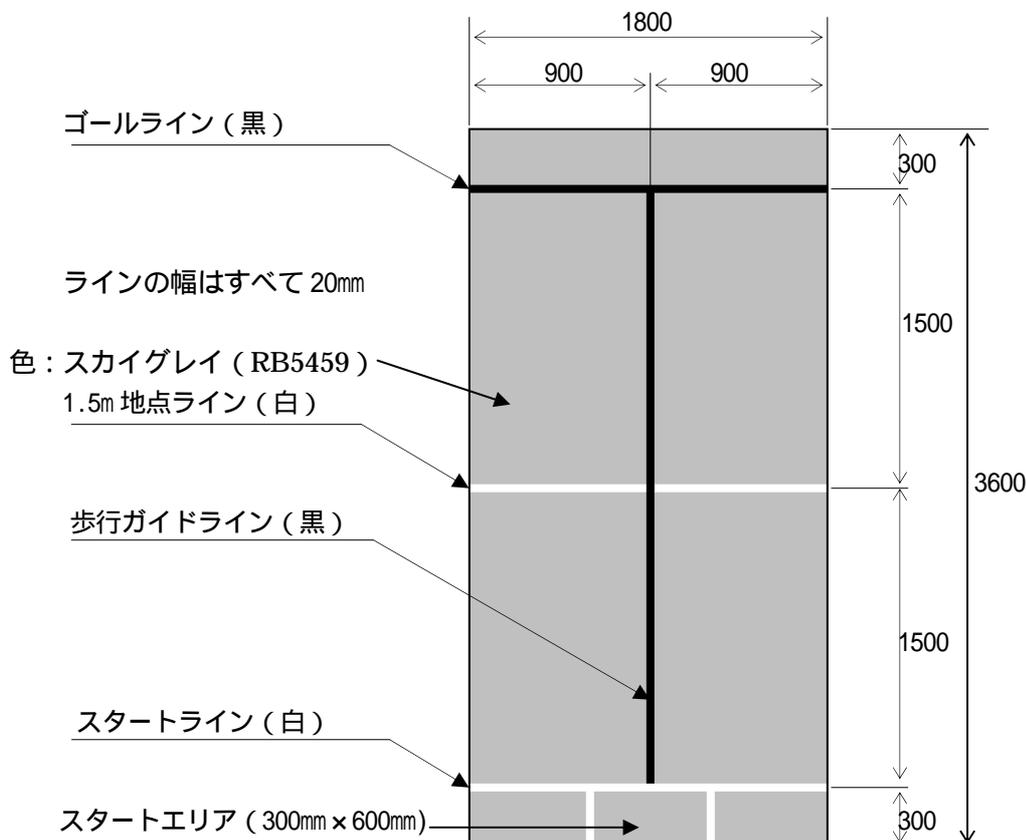
厚み：100 ミクロン

段差について

板の接続部分には段差が発生いたします。極力段差は低くしますが、1mm 程度の段差は発生することがあります。また、スタートライン、ゴールラインなど各種ラインは、競技コースの表面に上記カットニングシートを貼り付けます。

Q. 2 競技コースの詳しい寸法を教えてください。

A. 2 事前審査（規定床運動）および決勝競技（スプリント競技）の競技コースは同じものを使用いたします。ライン等競技要項に記されているものから一部変更し、下図のような寸法、色とします。



Q . 3 ロボットの足裏サイズの規定はないのですか。

A . 4 スタート時、ロボットは競技コースのスタートエリアからはみ出てはいけません。足裏サイズは特に規定しませんが、スタートエリアのサイズ以内となります。

Q . 4 事前審査の規定床運動および決勝競技において、足裏が競技場床面から離れないすり足での歩行でもよいのですか？

A . 4 どちらの競技もすり足での歩行はOKとします。ただし、競技場には板の接続部分に1mm程度の段差が発生することがあります。また、カッティングシートを貼り付けますので、その厚み分の段差が発生します。

Q . 5 市販の2足歩行ロボットそのままでの出場は可能ですか。

A . 5 可能です。

Q . 6 車検（身体検査）は行いますか。

A . 6 手足の数、身長およびロボット装飾、スタートエリア内に入るかのチェックを行います。検査に合格したロボットには、胸またはロボットの前面にシールを貼ります。

Q . 7 歩く（走る）方向は前向きでなければいけませんか。

A . 7 事前審査競技、決勝競技ともに、前後左右いずれも可とします。

Q . 8 事前審査競技の規定床運動の各競技について、競技規定の詳細を教えてください。

A . 8 次のように一部規定を変更します。

審判のスタートの合図で、右手を上げる。次に1.5m以上の直進する。（1.5m以上直進の動作を行う場合は、右手を上げたあと競技の最初に行ってください。）1.5m直進完了の動作のみ得点を20点とします。

スタートの構え（位置について用意！）を削除し、右手を上げるを得点対象とします。

競技は一つの動作を行っている「動作」期間と一つの動作が完了し、次の動作に移るまでの「準備」期間に分けます。

すべての競技を行う必要はありません。

技方法の詳細は下記のとおりです。

1. 競技者はロボットをスタートエリア内に置き、準備完了を審判に告げます。
2. 審判のスタート合図とともに、ロボットは右手を上げます。右手の一部またはすべてが肩よりも高くなるようにして下さい。
3. 審判のスタート合図で、時間の計測を開始します（競技が開始されます）。
4. 運動の開始時には「開始」、終了時には「終了」と必ず運動名と、開始、終了を告知してください。ロボットに触れる場合は「介助」と宣言し審判の許可を得てください。この期間は動作期間で減点の対象となります。
5. 一つの運動が完了し、次の運動に入る前の介助は「準備期間」とみなし、減点の対象とはしません。この場合も、競技者は必ず「準備」と宣言をし、審判の許可を得て下さい。
6. 減点は、一つの動作期間では5点（介助の回数に関係しない）で、動作が完了しなかった場合は、減点はせず、0点とします。
7. 途中で競技を中止する場合も、「終了」と宣言する。なお、その動作が完了したかどうかは、審査員が判断します。
8. 競技方法例

審判のスタート合図（計測開始）で

右手を上げる（10点）

1.5m以上直進（直進：20点）

この競技を行う場合、最初に行ってください。競技コースにはスタート地点と1.5m地点に白色のラインが貼ってあります。競技者は「直進します」と知らせ、ロボットをスタートエリア内よ

り歩行させて下さい。1.5m 地点のラインをロボット本体の一部でも超えれば運動完了です。歩き終えたら、競技者は「終了」と教えてください。

・以下の競技の順番は自由です。

「腕立て伏せ開始」

腕立て伏せ 3 回（腕立て伏せ：10 点）

ロボットは両手の先端部分とつま先の 4 点のみを床に接地させます。腕の屈伸により本体を 3 回上下させ、立ち上がって運動完了です。

「腕立て伏せ終了」

「片足立ち開始」

腕を横に広げ片足立ち（片足立ち：10 点）

両腕をほぼ水平に広げて、左右いずれかの足を床から完全に浮かした状態で静止させます。その後両足を床に着けて運動完了です。

「片足立ち終了」

「前転開始」

前転して起き上がる（前転：10 点）

ロボットを立った状態から前屈させ、背中を床につけて両足または片足を床に接地させる。その後起き上がるが、前転の勢いを使う必要はありません。上向きの状態から前方向に転回する方向であれば、どのように立ち上がってもかまいません。

「前転終了」

「フィニッシュ開始」

フィニッシュパフォーマンス（フィニッシュ：10 点）

自由演技です。両手を挙げて振るなど、観客にアピールをさせて下さい。

「フィニッシュ」

合計総得点：70 点

Q . 9 ロボットをパソコンとケーブルで接続し、パソコンで操作してもよいのですか。

A . 9 構いません。有線、無線を問いません。また、パソコンを使うことも可能です。

Q . 10 ラジコン操作ロボットにおいて、プロポの管理および使用チャンネル、周波数の指定について詳しく教えてください。

A . 10 同じ周波数、チャンネルのロボットが複数出場された場合、干渉による誤動作が考えられます。あらかじめエントリー時にロボットの操作方法およびラジコンの場合の周波数と使用チャンネルをお聞きします。そこで、重複した場合委員会から周波数およびチャンネルの指定をさせていただきます。この場合、クリスタルは事前に支給いたします。

また、競技中、競技者は全員ロボットを持参して集まってもらいます。プロポは競技場近くの指定場所に置いてもらいます。

Q . 11 競技者は 2 名必要とありますが、必ず 2 名でなければなりませんか。

A . 11 競技の説明と操作ができれば、一人でもかまいません。

Q . 12 事前審査と決勝競技のロボットは同一であり、構造を変えてはならないとありますが、全く同じでなければなりませんか。

A . 12 ここで言う構造とは性能に相当する部分で、単なる装飾（ロボットデコレーション）は、含みません。なお、車検時には装飾部分も含めて検査します。